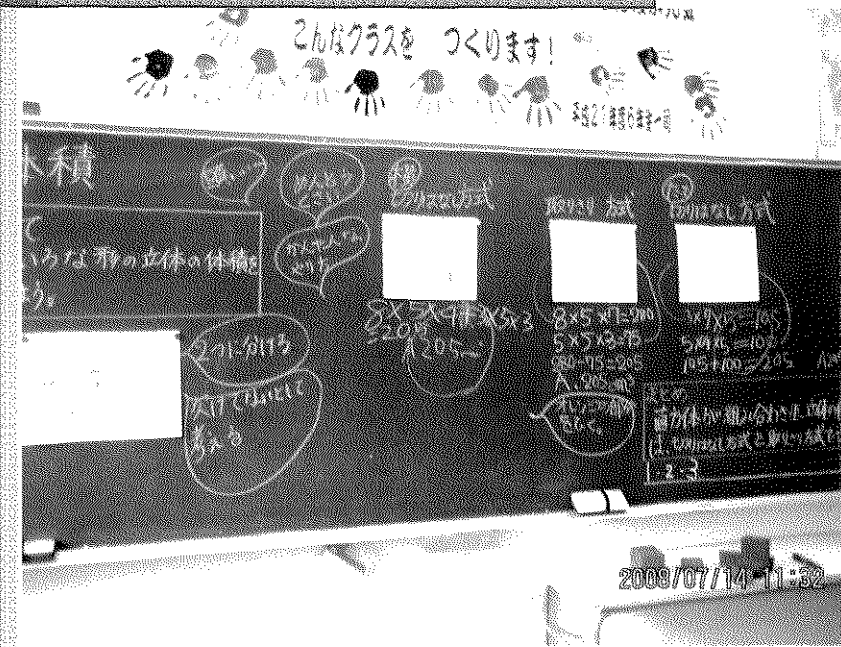


習得・活用・探究から観た温海の子どもの実態



平成21年11月11日(水)

会場：鶴岡市立温海中学校

習得・活用・探究とは何か？

<『新しい時代の義務教育を創造する』（答申）平成17年10月26日中央教育審議会>

- 現行の学習指導要領の学力観について、様々な議論が提起されているが、基礎的な知識・技能の育成（いわゆる**習得型の教育**）と、自ら学び自ら考える力の育成（いわゆる**探求型の教育**）とは、対立的あるいは二者択一的にとらえるべきものではなく、この両方を総合的に育成することが必要である。
- これからの社会においては、自ら考え、頭の中で総合化して判断し、表現し、行動できる力を備えた自立した社会人を育成することがますます重要となる。
- したがって、基礎的な知識・技能を徹底して身に付けさせ、それを活用しながら自ら学び自ら考える力などの「**確かな学力**」を育成し、「**生きる力**」をはぐくむという基本的な考え方は、今後も引き続き重要である。

<学校教育法（平成19年6月27日公布）>

第二章 義務教育

第三十条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第二十一条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- (2) 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を**習得**させるとともに、これらを**活用**して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

<小・中学校新学習指導要領Q&A（教師向け）>

問1-8 中央教育審議会答申（平成20年1月）において、「習得・活用・探究」という考え方が示されましたが、「活用」とはどのようなものですか。「基礎的・基本的な知識・技能」や「思考力・判断力・表現力等」との関係はどのように考えればよいですか。

答1-8 「習得・活用・探究」の学習の流れの考え方について、ポイントは以下の5点になります。

- ① 「基礎的・基本的な知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等」は子どもに身に付けさせるもの、「**習得・活用・探究**」はそのための**学習活動の類型**を示したものである。
- ② 各教科では、基礎的・基本的な知識・技能を「**習得**」するとともに、観察・実験をしてその結果をもとにレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述するといったそれぞれの教科の知識・技能を「**活用**」する**学習活動**を行う。それを総合的な学習の時間等における教科等を横断した問題解決的な学習や「**探究**」活動へと発展させる。
- ③ これらの学習活動は相互に関連し合っており、截然と分類されるものではない。
- ④ 各教科での「**習得**」や「**活用**」、総合的な学習の時間を中心とした「**探究**」は決して一つの方向に進むだけではない（「**習得**→**活用**→**探究**」の一方通行ではない）。
- ⑤ これらの**学習の基盤**となるのは言語に関する能力であり、そのために各教科等で言語活動を充実。

問題作成の基本理念	
主として「知識」に関する問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、 ○ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、 ○ 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

主として「知識」に関する問題の内容構成（小学校第5学年までに身に付けておくべきもの）	
「数と計算」	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 整数、分数、小数の計算をすること <li style="width: 50%;">○ 整数の表し方について理解していること <li style="width: 50%;">○ 概数について理解していること <li style="width: 50%;">○ 整数の性質について理解していること
「量と測定」	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 長さについての感覚を身に付けていること <li style="width: 50%;">○ 角の大きさを測定すること <li style="width: 50%;">○ 基本的な平面図形の面積の求め方を理解していること
「図形」	○ 基本的な平面図形の定義や性質について理解していること
「数量関係」	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 百分率の意味について理解していること <li style="width: 50%;">○ 資料を分類整理して、表を用いて表すこと

主として「活用」に関する調査問題を作成するにあたっての四つの観点とその内容	
物事を数・量・図形などに着目して観察し的確にとらえること	○ 日常の場面を観察して、数や量の関係をとらえて規則性を見いだしたり、図形を見出したりすることなどが考えられる。
与えられた情報を分類整理したり必要なものを適切に選択したりすること	○ 与えられた情報を分類整理し、目的に応じて情報を選択したり、複数の情報を関連付けたりすることなどが考えられる。
筋道を立てて考えたり	○ 解決の見通しをもち問題の類似性に着目して類推したり、共通性に着目して一般的な事柄を帰納したり、ある事柄が正しいことを根拠を基にして演繹的に明らかにすることなど。
振り返って考えたりすること	○ 解決方法や得られた結果の妥当性を吟味して改善したり、問題の条件を変えて発展的に考え一般化したり、複数の事象の共通点を見いだして統合したりすることなど。
事象を数学的に解釈したり	○ 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて数学的に表現されたものの意味や考え方を理解したり、その特徴をとらえたりすることなど
自分の考えを数学的に表現したりすること	○ 言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて自分の考えを数学的に表現したりすること。

温海の子どもの実態

第I部 数と式 時間 14分

	地区正答率	全国正答率	全国比
数と式	62.4	57.8	108
図形	64.1	53.5	120
数量関係	64.4	58.3	110

1 次の計算をしなさい。

5年上

1) 6.4×9.8

%

◇ 「(小数) × (小数)」の計算ができるか。
 ■ (2位数) × (2位数) の計算技能
 ■ 小数点の移動

5年上

2) $9.1 \div 3.5$ (割り切れるまで計算しなさい。)

%

◇ 「(小数) ÷ (小数)」の計算ができるか。
 ■ (2位数) ÷ (2位数) の計算技能
 ■ 小数点の処理

2 次の計算をしなさい。(答えが約分できるときは、約分してできるだけ簡単な分数にしなさい。)

6年上

1) $\frac{1}{8} + \frac{5}{6}$

%

◇ 異分母の分数の加法、減法ができるか。
 ■ 分母をそろえる
 ■ 同分母の分数の加法、減法
 ■ 通分

6年上

2) $\frac{7}{6} - \frac{8}{9}$

%

6年下

3) $\frac{2}{5} \times \frac{3}{14}$

%

◇ 分数の乗法ができるか。
 ■ 乗法の意味が分かる ■ 約分

6年下

4) $(\frac{5}{6} - \frac{3}{4}) \div \frac{2}{3}$

%

◇ 計算のきまりに従って計算ができるかどうか。
 ■ () 中の計算を先にする。
 ■ 除数が分数の計算技能
 ■ 分配法則

6年下

5) $\frac{1}{4} \div (\frac{7}{8} - \frac{1}{6})$

%